

「水辺をつたえる 水辺でつながる」～平成22年度 「水辺を活かす」活動事例集～

企画グループ 沼田彩友美

当研究所では、平成11年度から市民団体等の方々が河川等の水辺に関わる自然体験や環境教育等の活動に対し、「川に学ぶ」活動助成事業を行ってまいりました。平成22年度は「水辺を活かす」活動助成と名称を変更し事業を行いました。

表一 これまでの助成実績

実施年度	助成対象団体数
平成11年度	23団体
平成12年度	32団体
平成13年度	35団体
平成14年度	39団体
平成15年度	42団体
平成16年度	46団体
平成17年度	65団体
平成18年度	71団体
平成19年度	36団体
平成20年度	39団体
平成21年度	25団体
平成22年度	24団体

また、平成16年度より（財）日本宝くじ協会の協力を得て、助成対象団体の活動報告を事例集として発刊し、全国の図書館、学校、市民団体等へ広く配布しています。この度、『水辺をつたえる水辺でつながる～平成22年度「水辺を活かす」活動事例集～』を発刊しましたので、ご紹介いたします。

平成22年度は、全国から120件の応募をいただき、このうち24団体に当研究所の助成を活用して様々な活動を実施していただきました。活動が終了した際には、活動の目的、活動内容、活動の効果を「活動報告」として提出いただいています。

当事例集では、その「活動報告」を活動風景等の写真とともにご紹介しています。また、総集編として、これまで当助成事業に応募いただいた1541団体の概要、アンケートから得られた活動団体が抱える問題点も掲載しております。

全国各地で行われている活動は、その活動場所である水辺環境が異なるのと同じく、様々な特徴を持っています。水辺環境の改善や環境教育が活動目的であったり、地域のつながりのための手段として水辺が活用されている場合もあります。団体規模も活動

への参加人数も様々ですが、人員確保や資金面での苦勞を抱えながらも活動を支え、地域と水辺をつなげている人々がここにあります。

私たちがご紹介できる活動は一部ですが、当事例集が各地で取り組んでいる方々の励みになるとともに、今後の多くの活動の参考となれば幸いです。また、平成23年度より当研究所の助成事業は休止しておりますが、これからさらに水辺での活動が活性化し、様々な「つながり」が強くなることで豊かな水辺が形成、維持されていくことを願います。



図一 書籍のイメージ

過去の事例集は、当研究所のホームページからダウンロードすることが可能です。また、多少の在庫がございますので、冊子をご希望の方はお問い合わせください。

(URLはこちら→<http://www.rfc.or.jp/book5.html>)

なお、本書は、宝くじの社会貢献広報事業として助成をいただき、作成・出版したものです。